

# 議 事 録

会議等の名称	令和5年度 丸山晚霞記念館運営委員会	開催日時	令和5年2月8日（木） 午後1時30分～ 午後2時30分
		場所	東御市文化会館2階 第2会議室
主催者（事務局）	東御市企画振興部 文化・スポーツ振興課文化係	司会進行	高橋則幸（文化・スポーツ振興課長）
出席者 （敬称略）	実行委員：木内真由美、滝澤正幸、直井良一、早川一夫、林誠、増田敏、宮下聡、 矢島守、柳澤利幸、柳沢正和 計10名 事務局：井上祐一、高橋則幸、佐藤聡史 計3名		
欠席者 （敬称略）	若林哲也、日向大季、依田竜之介		

次第	発言者	
1 開会 2 市長あいさつ 3 会長あいさつ 4 諮問	司会 （文・スポ課長）	
5 報告事項 (1) 令和5年度運営協状況について	事務局（館長）	<p style="text-align: center;">※令和5年度 事業実績（要旨）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度は、8月に、信州アーツカウンシルとの協働による「シンビズム5」、11～12月に「高橋節・高橋久美子人形展」を実施。</li> <li>・「シンビズム5」に関しては、5回目ということもあり、県内各地で実施したが、来場者数が低迷してる。特に当館において目玉として期待していた作家が辞退されたことも影響している。</li> <li>・「高橋節・高橋久美子人形展」については全く無名の作家。ただ、晚霞に非常にゆかりの深い2人の作家ということで、実施に対しては大きな意義があったと考える。</li> <li>・年間を通して来館者数が非常に少なく、振るわなかった。</li> <li>・教育普及活動については、市内の全小中学校で月1～2回程度、美術館の所蔵の作品やデジタル化した武蔵野美術大学の作品を活用した「朝鑑賞」に取り組んでいる。</li> <li>・どんどこ巨大紙相撲大会が2月23日に控えている。</li> <li>・収蔵品の貸し出し実績は、佐久の川村吾蔵記念館から丸山晚霞の作品借用あり。</li> </ul>
	司会	令和5年度の事業運営の状況にに関して、意見、質問等あれば

お願いします。

増田委員

シンビズムは、継続してく予定はありますか。

事務局（館長）

来年は、茅野市美術館で開催する方向のようですが、当館でのシンビズムの開催は当面考えていません。

林会長

教育普及事業の実績について、このきめ細かさとその回数と豊富な内容は他の館にはない特徴だと思います。県立の美術館・博物館のシステムだと全体的な視点や立場からここまでの事業連携や展開はできません。今後もこの調子で是非続けていただきたいです。

直井委員

教育普及事業は、学校によってばらつきがあるようだが、回数が偏っているのはなぜですか。

事務局（館長）

教育普及事業に対する、それぞれ学校の先生方の考え方によって、偏りは出てしまいます。例えば祢津小と北御牧小は毎年恒例の行事というように定着してる学校もあります。

今年度は市の全小中学校で取り組みとして、「朝鑑賞」を始めておりますので、分け隔てなく全ての学校に出向き、先生たちとコミュニケーションとりながら事業を進めています。

学校への働きかけについては、和小学校の宮下校長に大変尽力をいただいています。

宮下委員

祢津小で先行的にいろいろ行っていただいたことを機に、祢津小から他の学校に異動して、鑑賞授業の良さをほかの学校に伝えて活動が広がることもあります。

学校の方からの依頼で対応している立場から、今のところ学校ごとにばらつきがあるように思うかもしれませんが、徐々にこれがいろんなとこに広がって行って、平均化されていくと思います。

木内委員

県立美術館の教育普及に長く関わってきましたが、教育普及事業は学校や先生にいかに理解していただけるかだと思います。宮下先生が仰ったように、教育普及事業に理解のある先生方が核となって、口コミなどで広がることで実践されていくと思います。

教育普及事業は丸山晚霞記念館の特長になっています。朝鑑賞も県内の美術館の関係者の間でも非常に有名な活動です。全国にも類を見ない活動で、このように市を挙げてというのは中々ない。これまでの経過も含め、丸山晚霞記念館の実績として残していただきたい。

6 審議事項 (1)令和5年度取得作品 (案)について	事務局（館長）	美術館としてはとてもキャパが狭いですが、いろいろな取り組みを入れながら、市を挙げて丸山晚霞記念館を盛り上げていきたいと考えています。
	司会	続きまして、6の審議事項になります。以降、規定に基づきまして、林会長の方で進行の方をお願いします。
	林会長	それでは、6審議の(1)令和5年度取得作品（案）について、事務局より説明をお願いします。
	事務局（館長）	※寄贈作品の説明
	林会長	佐藤館長から説明ございましたが、こちらについて、ご質問等ございましたら、発言をお願いします。
6 審議事項 (2)令和6年度事業計画 (案)について	滝澤副会長	こちらの作品というのは大変素晴らしいです。さらに、もう何点か寄贈という形になればよいのかなど。
	林会長	晚霞記念館の収蔵品にふさわしい作品だと私も思います。こういった所縁の作家の作品があれば収蔵品の幅が広がると思います。それでは、本年度の新収蔵作品ということ、ご了解いただいたということでしょうか。
		（異議なし）
	林会長	それでは、(2)令和6年度の事業計画（案）について、説明をお願いします。
	事務局（館長）	※令和6年度 事業計画（要旨） ・常設展は収蔵品を中心に3回実施予定。 ・企画展として、吉田遠志展（9月～12月）を開催。吉田博の息子である吉田遠志は父親に勝るとも劣らない素晴らしい作品を残しており、国内においてこれまで回顧展が一度も行われていない。長野県と所縁があるだけでなく、丸山晚霞と吉田博を顕彰する上でも注目すべき内容と考えている。東京都府中市美術館と共同開催。 ・代表作「飛び立つ」「最良の日」 ※世界最大の多色刷り木版画
林会長	令和6年度企画展について、ご意見、ご質問ございましたらお願いします。	
	滝澤副会長	吉田遠志作品を前面に押し出すことによって、一般の方々が思

っている素晴らしい絵、上手い絵、というものの極地を見ることができると思います。我々も吉田博作品の借用で遠志先生宅に向う機会がありますが、吉田博の所蔵者筆頭としてのみならず、作家として素晴らしさを是非とも全国に先駆け伝えていただけたらと思います。

林会長

私も同感です。吉田家には、何度もお伺いして、結局吉田博をお借りするという目的で行くのですが、行く度必ず遠志先生の絵はあるので。吉田遠志単独で企画展というのは初めてということで、府中市美術館と共同ですので、安心して取り組んでいただけたらと思います。

来年度の常設展示について、どのように展示するというものがあればお聞かせください。

事務局（館長）

デッサンも良いものがあるので、展示したいという気持ちはありますが、丸山晚霞の水彩画を見に来たという人が多いです。晚霞は意外と県外にコアなファンがおり、非常に熱心なお客さまとは、収蔵品の作品を見せながらコミュニケーションを取るようになっています。

林会長

デッサンが東御市の文化財に指定されたので、うまく活用してください。

早川委員

吉田遠志作品の背景については、かなりの魅力を感じましたので、観光協会へも共有していただければPRの一助を担えると考えます。

事務局（館長）

是非お願いします。

宮下委員

来年度から上小美術研究会が開催している版画展を6月28日から7月7日の期間、丸山晚霞記念館で開催します。そちらもご覧いただければと思います。

事務局（館長）

普及活動について、小中学校における活動は、やはり学校からの要望等に可能な限り応えていきたいというように考えています。朝鑑賞に関しましても、引き続き継続ということになります。吉田遠志の作品を鑑賞にも使っていただけるように、画像の用意などをして、展覧会の方にも足を運んでもらえるような仕掛けを作りたいと考えます。もちろん展覧会の中に色んなワークショップや音楽イベントなども計画していますので、こちらはもう少し具体的になりましたら、皆さんの方にご案内をさせていただきたいと思います。

去年から社会福祉協議会の子供の居場所づくり事業に携わっています。事業の内容としては、共働きで両親の帰りが遅い等の家庭の子供達に、工作や鑑賞、音楽などを提供しています。

来年度のスケッチ大会については、「火のアートフェスティバル」と共同開催する予定です。吉田遠志展の会期中ですので、少しでも足を運んでいただけるような仕掛けを作っていきたいと考えています。

どんどこ巨大紙相撲大会については、来年度が雷電為衛門没後200年という節目に当たります。趣旨や内容について、十分地域に浸透していることから、市内の様々な企業や商店から、寄付や協賛をいただけるようになっております。

柵津煎餅作りも定着してきましたが、コロナも終わりましたので、いろいろな場所で、晚霞の宣伝がてら煎餅を焼きたいなというようにも考えています。

林会長

最後に普及活動について、改めてご説明を頂きました。引き続き、多種多彩な企画頑張ってくださいと思います。

では、6の審議(1)、(2)とも終了で、適当である旨答申したいと思いますが、異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

7 答申

林会長

それでは適当である旨、答申させていただきますので、事務局で答申案を作成するので、しばし休憩とします。

(休憩)

林会長

よろしいでしょうか。それでは、答申案の作成、ありがとうございました。では、事務局より答申案につきまして朗読をお願いいたします。

事務局（館長）

(答申案読み上げ)

林会長

ただいま朗読いただきました内容について、後日、花岡市長に答申書をお渡し申し上げたいと思います。

ご協力ありがとうございます。運営進行にご協力いただきまして、重ねて御礼申し上げます。それでは、事務局に司会をお返しいたします。

8 その他

司会  
(文・スポ課長)

それでは皆様、長時間にわたりまして慎重なご審議、ありがとうございました。また、管理運営に対して、様々な意見を賜りましたことについて、感謝を申し上げたいと思います。

<p>9 閉会</p>	<p>司会 (文・スポ課長)</p> <p>滝澤副会長</p>	<p>ご承知のとおり、小規模な当館ではありますが、市で策定した文化芸術推進計画を基に、文化芸術施策を推進しております。先ほども会長から、企画展と普及事業をうまく組み合わせるといってお話もありましたので、学校等々教育現場とも、連携を図りながら、盛り上がってくような形の取り組みに繋げていきたいと考えております。引き続きではございますが、ご理解ご協力のほう、お願いします。</p> <p>それでは閉会に移らせていただきます。閉会の言葉を滝澤副会長お願いします。</p> <p>以上をもちまして、令和5年度の丸山晚霞記念館運営委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>
-------------	-------------------------------------	--